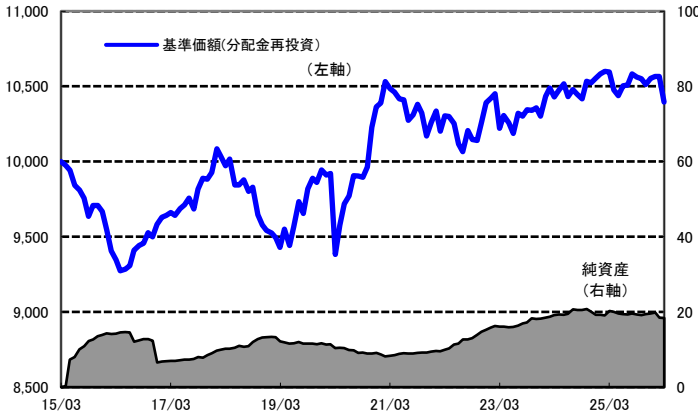


運用実績

2026年3月31日 現在

運用実績の推移

(設定日前日 =10,000 として指数化; 月次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

基準価額※ 10,335 円

※分配金控除後

純資産総額 18.4 億円

- 信託設定日 2015年4月1日
- 信託期間 無期限
- 決算日 原則12月6日
(同日が休業日の場合は翌営業日)

騰落率

期間	ファンド
1カ月	-1.6%
3カ月	-1.5%
6カ月	-1.6%
1年	-1.9%
3年	1.7%

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

設定来 4.0%

分配金(1万口当たり、課税前)の推移

2025年12月	10 円
2024年12月	10 円
2023年12月	10 円
2022年12月	10 円
2021年12月	10 円

設定来累計 60 円

設定来 = 2015年4月1日以降

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

ブルーベイ・ファンズ - ブルーベイ・インベストメント・グレード・アプジョイント・リターン・ボンド・ファンド(クラスS-JPY)の資産内容

2026年3月31日 現在

ポートフォリオ特性値

平均格付	A
平均最終利回り	5.0%
平均デュレーション	0.5年
平均スプレッド・デュレーション	1.7年
組入銘柄数	207銘柄

・左記のポートフォリオ特性値は、ファンドの組入債券等(現金を含む)の各特性値(最終利回り、デュレーション、スプレッド・デュレーション)を、その組入比率で加重平均したものです。現地通貨建。また格付の場合は、現金等を除く債券部分について、ランク毎に数値化したものを加重平均しています。
・デュレーション:金利がある一定割合で変動した場合、債券価格がどの程度変化するかを示す指標。
・平均格付とは、基準日時点で外国投資法人が保有している有価証券に係る信用格付を加重平均したものであり、当該外国投資法人の発行する受益証券に係る信用格付ではありません。

通貨ポジション

通貨	純資産比
ロング(買い建て) 上位3通貨	
ユーロ	10.0%
米ドル	2.1%
ブラジル・リアル	1.1%
ショート(売り建て) 上位3通貨	
コロンビア・ペソ	-6.5%
英ポンド	-3.4%
タイ・バーツ	-1.5%

・実質的な通貨ポジションにかかわらず、原則としてファンドの純資産総額をユーロ換算した額とほぼ同額程度のユーロ売り円買いの為替取引を行なうことを基本とします。

国・地域別配分

国・地域	純資産比	スプレッド・デュレーション
ドイツ	25.1%	0.2年
米国	16.3%	1.3年
メキシコ	6.5%	0.4年
コロンビア	6.5%	0.0年
日本	5.9%	0.0年
その他の国・地域	33.5%	-0.2年
その他の資産	6.3%	-
合計	100.0%	1.7年

・国・地域は、原則発行国・地域で区分しています。
・スプレッド・デュレーションとは、債券価格のスプレッド(クレジット債利回りと国債利回りの差)変動に対する感応度(変動率)を表しており、この値が大きいほどスプレッド変動に対する債券価格の変動が大きくなります。

組入上位5銘柄

銘柄	国・地域	債券種別	純資産比
Bundesrepublik Deutschland Bundesanleihe	ドイツ	国債	17.1%
Colombian TES	コロンビア	国債	5.6%
Republic of Poland Government International Bond	ポーランド	国債	2.1%
Mexico Government International Bond	メキシコ	国債	2.1%
Iceland Rikisbref	アイスランド	国債	1.4%
合計			28.4%

格付別配分

格付	純資産比
AAA	17.9%
AA	0.6%
A	17.3%
BBB	31.8%
BB	13.7%
B	0.0%
CCC以下および無格付	12.5%
その他の資産	6.3%
合計	100.0%

・格付はS&P社あるいはムーディーズ社のいずれかの格付機関の低い方の格付によります。

※当資料は、外部委託先であるRBCグローバル・アセット・マネジメント(UK)リミテッドからのデータを使用して作成しております。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)。従って、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込手続きについてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は

NOMURA 野村アセットマネジメント

商号:野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
加入協会:一般社団法人資産運用業協会 / 一般社団法人第二種金融商品取引業協会

下記の事項は、この投資信託をお申込みされるご投資家の皆様に、あらかじめご確認いただきたい重要な事項としてお知らせするものです。
お申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)の内容を十分にお読みください。

投資リスク

ファンドは、外国投資法人の発行する受益証券等への投資を通じて、債券等に実質的に投資する効果を有しますので、金利変動等の影響による当該債券等の価格下落や、当該債券の発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、為替、債券、金利、クレジット、又は各種指数等を参照するデリバティブ取引を活用しますので、為替、市場金利、各種参照指数等の変動及び投資対象やデリバティブの取引相手先の信用度に対する市場参加者の認識の変化等の影響を受け、基準価額が下落することがあります。また、デリバティブ取引等のロング・ポジション、あるいはショート・ポジションを構築することにより、投資対象市場の方向性によらず収益の獲得を目指しますので、投資対象市場が上昇した場合でも、収益が得られない場合や損失が発生する場合があります。また、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※ファンドの基準価額の変動要因には、この他にも、取引先リスクなどがあります。
※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

【当ファンドに係る費用】

ご購入時手数料	ありません。
運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に年0.418%(税抜年0.38%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。 ○実質的にご負担いただく信託報酬率 年1.158%程度(税込) *ファンドが投資対象とする外国投資法人の信託報酬を加味して、投資者が実質的に負担する信託報酬率について算出したものです。
その他の費用・手数料	組入る有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
信託財産留保額 (ご換金時)	ありません。

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。
※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

◀分配金に関する留意点▶

- 分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。
- ファンドは、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。
- 投資者の個別元本(追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本)の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。

ファンドの販売会社、基準価額等については、下記の照会先までお問い合わせください。
野村アセットマネジメント株式会社
★サポートダイヤル★ 0120-753104 (フリーダイヤル)
<受付時間> 営業日の午前9時～午後5時
★インターネットホームページ★ <https://www.nomura-am.co.jp/>

<委託会社> 野村アセットマネジメント株式会社
[ファンドの運用の指図を行なう者]

<受託会社> 野村信託銀行株式会社
[ファンドの財産の保管および管理を行なう者]

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)、ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込手続きについてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は

NOMURA 野村アセットマネジメント

商号：野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
加入協会：一般社団法人資産運用業協会 / 一般社団法人第二種金融商品取引業協会

先月の投資環境

○米国10年国債利回りは、上旬は、米国とイスラエルがイランを軍事攻撃し、イランがホルムズ海峡を封鎖したことを受けて、原油高によるインフレ再燃懸念が高まり、利回りが上昇(価格は下落)しました。当初は短期収束が見込まれていたものの、中旬に、イランによるホルムズ海峡の封鎖継続や、米国が海兵遠征部隊を中東に派遣する方針との報道がなされたことで、衝突の激化、長期化が懸念され、利回りが上昇しました。下旬には、トランプ米大統領がイランへの軍事攻撃に猶予期間を設けたことで衝突激化懸念が後退した局面がみられたものの、米国による地上部隊の追加派遣検討報道や、親イラン武装組織フーシ派の参戦などから依然として中東情勢に対する不透明感が継続しており、利回りは高止まりました。なお、月間では利回りは上昇しました。

○欧州10年国債利回りは、ECB(欧州中央銀行)理事会で6会合連続で政策金利が据え置かれたことや、中東情勢緊迫化から原油価格が上昇したことを受けてECBが欧州圏のインフレ予測を引き上げたことなどから、月間で利回りは上昇しました。

○ドル・円相場は、前半は、中東情勢の緊迫を受けて有事局面でのドル買いの動きが広がったほか、原油価格が上昇したことで、原油を輸入に依存している日本経済への悪影響が懸念されたことなどにより、円安・ドル高となりました。後半は、日銀の植田総裁の発言が金融引き締めに向き姿勢との見方がされたことや、日本政府・日銀による円買いの為替介入が警戒されたこと、トランプ米大統領による軍事攻撃の延期表明などにより円高・ドル安となる局面もみられたものの、依然として中東情勢への不透明感は根強く、緩やかに円安・ドル高となり、月間でも円安・ドル高となりました。

先月の運用経過

(運用実績、分配金は、課税前の数値で表示しております。)

○月間のファンドの騰落率(分配金再投資)は、-1.62%となりました。

○先月末時点のポートフォリオの状況は、最終利回りは5.0%、平均デュレーション*は0.5年、平均格付はAとなっています。

*デュレーションとは、市場金利変動に対する債券価格変動の感応度を示す指標です。

○格付別配分は、BBB格の比率を高めとしました。

○国別配分は、ドイツ、米国などの比率を高めとしました。通貨ポジションは、ユーロ、米ドルなどをロング(買い持ち)し、コロンビア・ペソ、英ポンドなどをショート(売り持ち)しました。

○金利戦略は、英金利のロング・ポジションなどがマイナスに影響しました。国債戦略では、メキシコやルーマニアのロング・ポジションなどがマイナスに影響しました。社債戦略は、グローバル社債のスプレッド(利回り格差)が拡大する中、マイナスに影響しました。通貨戦略は、ブラジル・リアルやカザフスタン・テンゲ、トルコ・リラのロング・ポジションに加え、フィリピン・ペソやインド・ルピーのショート・ポジションなどのエマージング通貨のポジションがプラスに寄与しました。

今後の運用方針 (2026年3月31日現在)

(以下の内容は当資料作成日時時点のものであり、予告なく変更する場合があります。)

○米国・イラン紛争に関する相反するシグナルが投資見通しを曇らせるなかで、市場は引き続き極めて不安定な状態にあります。米政権が紛争からの迅速な撤退に向けて動いている一方で、地上作戦の現実味が帯び、行き詰まりがみられている状況は、この先の見通しに不確実性をもたらしています。足元の投資環境を踏まえると、現時点でアクティブ・リスクをとるのは非常に困難であると考えています。不確実性が高まる中、リスク・ポジションをニュートラルに近いポジションとすることが賢明とみている一方、霧が晴れた時点で、より明確な行動をとれるように備えたいと考えています。現在の市場環境を踏まえた投資見通しとして、矛盾した情報を踏まえて、短期的にはリスクレベルを抑え、慎重なスタンスを維持するものの、見通しがより明確となった段階で、市場のミスプライスによる投資機会を活用していく方針です。

○金利市場では、デュレーションのロング・バイアスを維持しており、3月末で、方向感をもつエクスポージャー(価格変動リスク資産の配分比率)を縮小したものの、利回りの上昇を踏まえ、魅力が増していると考えています。紛争が長期化するにつれて、市場の注目はインフレから成長への影響にシフトする可能性があり、金利市場にはプラスに働くと考えています。

○社債市場では、米経済の力強さや投資家の利回り追求の動きが支援材料になるとみているものの、エネルギー価格の上昇が成長にもたらす影響によっても大きく左右されると考えています。ポートフォリオでは、小幅なロング・バイアスを維持していますが、紛争が終わりに近づき、投資環境がより明確となった段階で、リスクを積み増す方針としています。

○これまで通り銀行セクターや市場流動性の高い分野への選好を維持する一方で、短期的に、銀行や非金融機関の劣後債(事業ハイブリッド債)はパフォーマンスで苦戦する可能性があります。一方、シクリカル(景気敏感)性の強いセクターや格下げリスクの高いBBB格の銘柄などの領域を回避しています。

○ボトムアップの銘柄選択は引き続き重要であり、アクティブなセクターや銘柄、地域選択の重要性を強調しています。このような環境はアクティブ・マネージャーに有利に働くと考えています。コンプレッション(スプレッドの縮小)などの広範なテーマもさることながら、アルファの源泉は、とりわけ一部のビジネスモデルが深刻な構造的課題に直面するなか、投資ユニバース全体における相対的な勝者と敗者を見極めることにあると考えているためです。

○当ファンドは、新興国を含む世界各国の投資適格格付債券*に投資するとともに、デリバティブ(金融派生商品)取引および為替予約取引等を行なう外国投資法人、および円建ての短期有価証券を実質的な投資対象とする投資信託証券を主要投資対象とし、信託財産の成長を目標に積極的な運用を行なうことを基本とします。

*債券の投資適格格付は、ムーディーズ社もしくはS&P社、またはその他の格付機関による投資適格格付(BBB-相当格)以上とします。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込手続きについてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は

NOMURA 野村アセットマネジメント

商号：野村アセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
 加入協会：一般社団法人資産運用業協会 /
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会

野村ブルーベイ・トータルリターンファンド(野村SMA・EW向け)

お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 資産運用業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
野村証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第142号	○	○	○	○

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。
※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。